

「おおふなぼーとで知る・学ぶ・伝える」震災から今日

次世代に伝えたい昔と今

3月4日から17日まで、「おおふなぼーとで知る・学ぶ・伝える～震災から今日まで～」が行われました。このイベントは、(一社)大船渡市観光物産協会が、防災に関する情報の提供や、交流の場を提供しようと企画。期間中は、復興の歩みを記録した写真展、地元建設会社が再現した昭和の須崎商店街のジオラマ展示、防災・救命に関する講座などが行われました。



特別番組「KIZUNA STATION」ラジオ公開生放送

震災の教訓と今を伝える

3月11日、防災観光交流センターで、東京都の衛星デジタルラジオ放送局・株式会社ミュージックバードの特別番組「KIZUNA STATION」のラジオ公開生放送が行われ、コミュニティFMを通じて被災地の今を全国に発信しました。歌手の岸田敏志さんとラジオパーソナリティーの岡野美和子さんが聞き手となり、行政、市民活動、観光などに携わる人を招きトークを交わしました。



(9) 広報大船渡 31. 4. 8(No. 1148)

ツバキの記念植樹

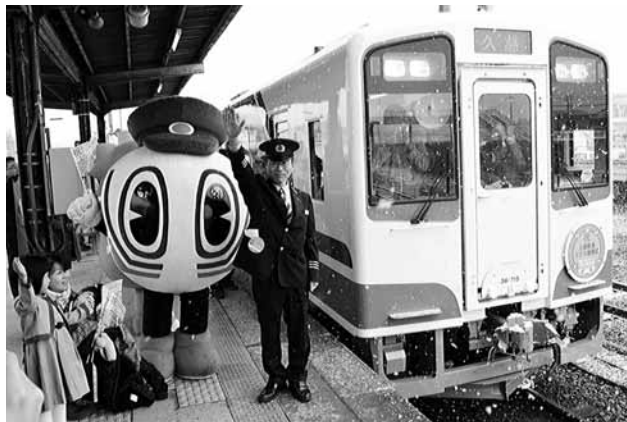
健やかな成長を願い植樹



3月7日、日頃市町字上代地内の私有地で、ツバキの記念植樹を行いました。ツバキの苗木45本は、復興支援としてサッポロホールディングス株式会社より提供されました。世界の椿館・基石の職員の指導のもと、同社関係者、日頃市中学校の生徒、社会福祉法人大洋会の入所者など総勢58人が、丁寧に植樹を行いました。また、大船渡町の夢海公園にツバキの苗木3本を植樹しました。

三陸鉄道リアス線全線開通

一つにつながる10市町村



3月24日、三陸鉄道リアス線の盛駅～久慈駅間163kmの一般運行が開始しました。東日本大震災により不通になっていた釜石駅～宮古駅間は、JR山田線の経営移管を受け、「三陸鉄道リアス線」として大船渡市から久慈市までの10市町村が8年ぶりに鉄道でつながりました。盛駅では、記念イベントとして地元銘菓やさんまのすり身汁の振る舞いを行い、多くの乗客を笑顔でもてなしました。

トピックス 1

安倍晋三首相復興状況視察

3月9日、安倍首相が渡辺博道復興大臣、鈴木俊一衆議院議員、達増拓也岩手県知事らと本市を訪れ、キャッセン大船渡街区を視察しました。

今回は、三陸沿岸道路と東北横断自動車道の開通式に合わせ釜石市をはじめ本市、陸前高田市を視察。

戸田市長が復興状況と今後のまちづくりについて、(株)キャッセン大船渡の臂タウンマネージャーがキャッセンエリアの施設概要について説明しました。

安倍首相は、戸田市長と復興に向けたまちづくりについて意見交換したほか、地域住民に声を掛け握手するなど笑顔で交流する姿が見られました。



①子どもたちと一緒に竹あかりに復興への想いを込めました
②復興へと結束を固める安倍首相(右)と戸田市長



①複合遊具で楽しそうに遊ぶ猪川保育園の園児たち
②(株)ドコモCS東北岩手支店の藤森浩一支店長から戸田市長へ目録贈呈

トピックス 2

NTTドコモグループ東北応援社員募金贈呈式

3月18日、猪川町の前田公園で、NTTドコモグループ東北応援社員募金の贈呈式を行いました。

式では、この寄付を活用し設置した複合遊具の除幕式を猪川保育園の園児らと一緒にしました。

同グループは、継続的な東北復興支援の一環として、募金の趣旨に賛同する社員1人につき毎月311円を集め、その募金総額に会社からの募金を上乗せし、寄付する取り組みを行っており、本市への寄付は、昨年引き続き2回目となります。

これまでいただいた寄付は、おおふなぼーと館内の遊具などの設置に役立てています。

トピックス 3

平成30年度派遣職員辞令書交付式

3月20日、市役所で、平成30年度派遣職員の辞令書交付式を行いました。平成30年度は、全国の自治体など16団体から40人が本市に派遣され、復興業務に携わっていただきました。

式では、派遣職員を代表し、復興政策課主任の高橋量平さん(岩手県派遣)が、戸田市長から大船渡市での復興業務の任務を解く辞令書の交付を受けました。戸田市長は、これまでの復興支援に対する感謝の言葉を述べるとともに、派遣元での今後の活躍にエールを送りました。平成31年度は、13団体から20人の職員の皆さんが着任しています。



①復興の進展にご尽力いただいた派遣職員の皆さん
②派遣職員を代表し辞令交付を受ける高橋量平さん(岩手県派遣)